

KOKUSAI

★発行：国際運輸株式会社★ VOL.18

「戦友」



代表取締役会長
前田一彦

職場で共に働く従業員は、皆戦友で

す。最近、“静かなノモンハン”という戦記ものを読みました。読んだ後で深く考えざるを得ませんでした。日本軍とソ蒙軍がハルハ河を境界線に外蒙領と、満州国領に分かれている戦場で死闘を繰り返していた所です。

昭和14年（1939年）ソ蒙軍の攻撃から戦闘が開始されました。ノモンハンはどこも渺茫として、果てしなく草原が続いている所で何も無い、人もほとんど住んでいない地方なのです。何の為の戦闘であったのか。命令を受けた日本軍は、数少ない戦車、劣った武器で非常によく戦いました。窮余の一策として使われたのが火炎瓶ですが、対戦車として使用されたのは、この時が初めてのようにです。ノモンハンでは日本軍は完全に敗北

を喫したのですが、停戦条約が結ばれた日本軍は後方に撤退しました。八千名を越える戦死者が出たのです。マスコミも、当時は新聞とラジオですが、ほとんど真実が報道されず、国民は事の重大さを知ることができませんでした。日露戦争で勝利した日本の国民は、負けるはずがないと信じていましたので、軍部は敗戦の公表をはばからず、事実を隠ぺいしたのです。退却は転進、敗戦は終戦、事実からの目を反らすやり方は同根です。敗因を徹底的に研究し、次の戦いに備えなければならなかったですが、日本軍は常に精神力を第一義と考え、武器等の開発や研究を怠ったと言わざるを得ません。日露戦争に使用されたような銃を使っていたのですから。しかし、先に述べたように日本軍は良く戦いました。劣悪な条件の中で、日本軍人としての誇りを持ち、国を守るという強い信念を持って戦ったのです。

しかし、戦場で敵と相見えての戦闘中、何を考えるでしょうか。一人でも多くの敵兵を倒し、身を守るということでしょう。その時、横にいて戦っているのは戦友です。もし、何事か起これば、頼れるのはその戦友だけです。召集され、たまたま同じ隊に編入された兵隊ですが、その時、誰よりも何よりも頼れる人です。

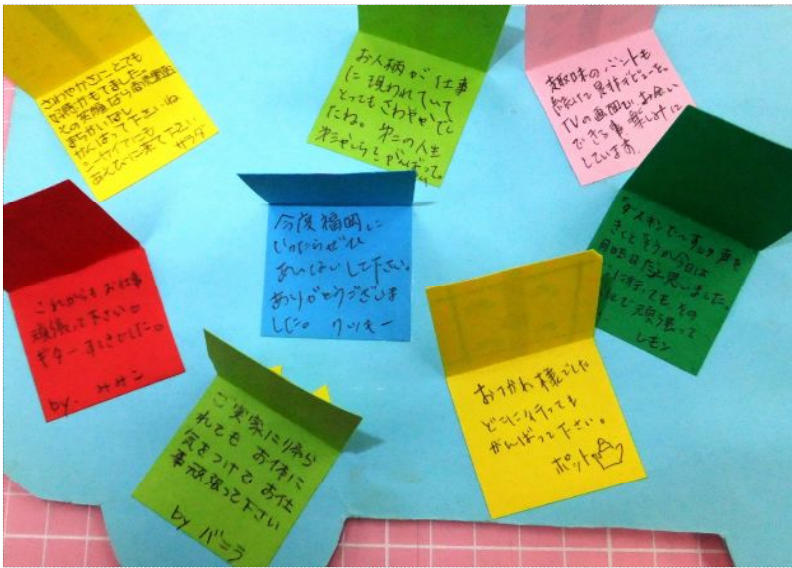
ところで、実際に砲火が飛び交う事のない職場を考えてみましょう。私達は縁あって同じ会社で働いています。私は縁という言葉に深い意味を感じます。偶然でない、“誰か”の意思が働いているように思えてなりません。

縁があつて出会いがあつたのです。折角の縁、お互いに助け合つていかなければとしみじみ思っています。人はそれぞれ異なった能力を持っていきます。競争や争うことなく、自分らしさを出す努力をすべきではないでしょうか。そのことが自己の開発につながります。会社の発展にも繋がるものと信じています。

会社もある意味では戦場です。他社に引けをとることがないよう、助け合つて前進しましょう。一人で戦うことはできません。総合力が問われるのです。皆さんの協力を切に願っています。

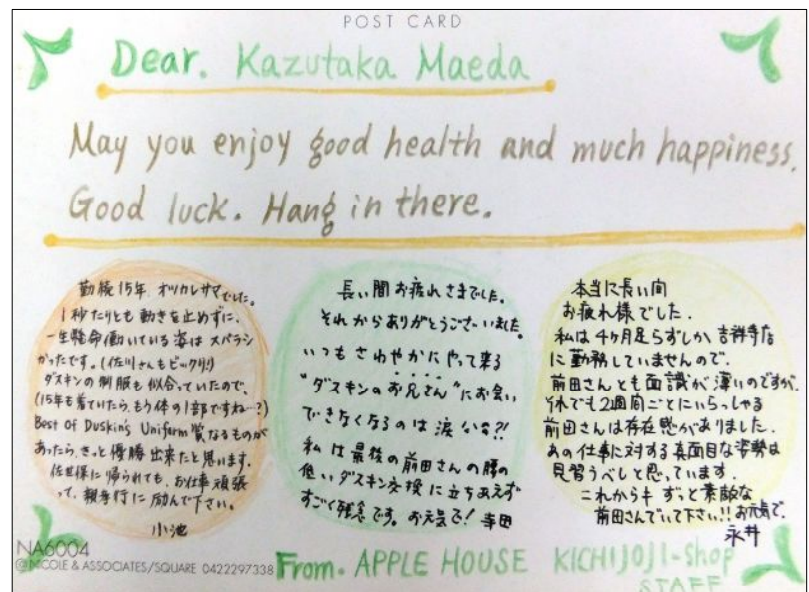


私の宝物



代表取締役社長
前田和隆

▶ 前田和隆 様
ご多幸とご健康を祈っています。
頑張ってください。
APPLE HOUSE KICHIJOJI SHOP
スタッフ一同より



ついつい自慢げな私に無理やり見せられた方もいらつしやると思いますが：
今回は私の宝物を紹介させて頂きたい。
写真の手紙(葉書)は私が東京で15年間勤めていた仕事を辞める時、担当していたお客さまから頂いた物の一部です。全て女性からのものなので「見せびらかすなよ」と言われそうですが、そこはひとつ大目に見て下さいね(笑)
思い起こせば二十歳の私は音楽の道を求めて上京したものの何をやっていいのか皆目見当もつかず、取りあえず生活のためにバイトで入った会社がダスキン城西(現・株武蔵野)というところで、仕事の内容が性分に合っていたのかそのルートセールスマンに15年の青春の日々を費やしてしまった結果となりました。
ダスキン業務用のルートセールスは基本的に二週間に一度お客様を訪問し、レンタル商品の交換やメンテナンスをするのですが、一日で回らなければならぬ件数のノルマが多い日は100件近くあり、昼飯(定番は吉野家か松屋!!)の10分を除いては、朝から晩まで大都会の街中をネズミのように

走り回っていました。

「今の姿からは想像がつかない？」

なんて言葉が聞こえてきそうです。が、こう見えても若いころ(今も若いつもりですが…)の私の体力ときたら「人の倍働いて三倍遊ぶ」を自認するほどだったんですよ!?

と言うわけで、忙しく動き回るのは苦にならなかったのですが、新規顧客獲得の営業活動はあまり得意ではなく、飛び込みの営業などは真面目にやった記憶がありません。しかしなぜか営業成績は100人近くいた社員の中で15年間ほとんど常にトップ!!

バブル期絶頂と言う事もあって毎年の海外研修(ただの遊び)も成績上位者は常に無料。その他定期的な営業キャンペーンでも頻繁に臨時ボーナスを手にしていました。しかし何故営業嫌いの私がその成績を上げられたのか?

それは既存のお客様に知り合いのお店を紹介して頂いていたからなのです。でも紹介してほしいなどと口にはした事はほとんどありません。

勝手にお客様を紹介してくれまして。実際に日々のルートで事業所やお店を訪問できるのは9時から5時として約8時間。移動に2時間として6時間で7〜80件回るとすると一軒当たりの所要時間は5〜6分しかありません。その数分でレンタル品の交換やメンテナンスを行い、集金をするわけです。それからもうバタバタ：ただでさえ汗かきの私は冬でも上着まで汗が染みて、それが汗な

言われる事が頻繁にありました。しかし私が日頃から心がけていたのは、どんなに忙しくて疲れていても：更に言えば忙しければ忙しい程、「丁寧な作業」と「明るく元気な笑顔と挨拶」を忘れないと言う事でした。たぶん私がしていたと

は、どんなに忙しくて疲れていても：更に言えば忙しければ忙しい程、「丁寧な作業」と「明るく元気な笑顔と挨拶」を忘れないと言う事でした。たぶん私がしていたと

は、どんなに忙しくて疲れていても：更に言えば忙しければ忙しい程、「丁寧な作業」と「明るく元気な笑顔と挨拶」を忘れないと言う事でした。たぶん私がしていたと

は、どんなに忙しくて疲れていても：更に言えば忙しければ忙しい程、「丁寧な作業」と「明るく元気な笑顔と挨拶」を忘れないと言う事でした。たぶん私がしていたと

がダスキンの交換係」の私が何故お客様から可愛がってもらえたのか?

自分で言うのもなんですが、きっと私は応援してあげたくなるような雰囲気を出していたのだと思います。

本日はさつさと仕事を終わらせて好きな事のために時間を使いたい一心で頑張っていただけで、丁寧な作業もクレームによる余計な仕事を増やしたくないとの考えでした。それがお客様にしてみれば「そんなに必死に頑張っているんだから」と良い方に解釈してもらえたみたいでした。いや、むしろ憐れまれていたのかもしれないね(笑)。

結果的に得られた教訓は「お客様や上司に応援してもらえりょうな仕事を一番結果を出せるやり方」

当時は様々な会社やお店の経営者の方から「ダスキンを辞めるならうちに来てくれ」と誘って頂くのを断るのに困った記憶も多々ありますが、佐世保に戻る際に頂いた前記の

手紙が思い出の詰まった一番の宝物となりました。

今回は自慢話の羅列のようになっ

てしまい恐縮です。



あいさつ



常務取締役
中園嘉臣

今年も早いもので、すでに2月が過ぎようとしています。当社に於いても、昨今の不景気の波は1月早々より押し寄せているようです。

両部門ともに例年通りの低調動きで推移しているようです。海外の状況は、エジプトの内乱に端を發し、中東及び北アフリカ一帯迄内紛が広がり、食糧の高騰、原油の高騰迄引き起こしているようです。

先日の新聞で「景気は上向いている」との記事が載っていました。上場企業各社の直近の実績を踏まえての事と思いますが、確かに連結決算では利益が増加したようです。しかし、日本国内だけ見たらどうでしょう。特に佐世保市内を見渡せば、景気のいい話を耳にしません。景気回復が地方まで影響が出るのは

半年後、一年後とも言われています。そんな中でも好調が続いている会社も多くあります。大手で言えば、ドコモ他通信各社、JFE等の鋼材メーカー、佐世保市内に於いてはジャパネットたかた、プレナス等。こういう会社は他社とどこが違うのでしょうか。需要にあつた製品及び、商品の提供だけでしょうか。

先日携帯が壊れて今流行のスマートフォンに替えました。実は昨年末も、多少のコストが安くなるとの情報を得、ソフトバンク販売店に行きました。アイフォンの説明を長々と聞き、これはパソコンの携帯型なので何でも個人がしなければならぬ。又、不具合があつても販売店では対応できなく、サポートセンター契約の上、そこに連絡をとる事でした。又、メール等の設定も販売店は一切しないとの事。会社の方針とは言え、あまりに不親切と思ひ契約を止めました。

今回は別会社の販売店に行きました。全てを説明後、メールの設定、不明な点等販売店でも対応するとの事。即日購入の契約をしました。又、帰りには入り口付近迄見送り、

深々と頭を下げる姿勢を見た時、この店から買いたいという気になりました。

全ての業界が生き残る為に、色んな努力をしています。技術面、サービス面、価格面等。但し、すでに価格面では限界に来ているのではないのでしょうか。先述した通り、先ほどの販売店が好印象を与え、又来たいと言う思いにさせた。その事自体が、生き残りの条件ではないかと思ひます。

当社も、服装、あいさつ、言葉遣い等に注力する様に言い続けています。お客様は決して、経営トップや管理者を知っているということだけで、いつもその店で買い物をするとは思いません。会社の信用とは現場の乗務員、作業員の仕事の成果が作り出しています。日々の作業に於いては、同じ会社、同じ人と接する機会が多いと思いますが、決して慣れ合いにならず、いつも変わらない「あいさつ」等を心掛けて頂きたいと思ひます。



「私ごとですが」



取締役 梱包部部长

萩坂貴徳

今回、総務の和田氏から頂いた社内報の原稿依頼に応え、今度こそ、読んで貰って何かおもしろいものを、と思いつつも、またまた、自身の勝手な視点から、いくつか思うままの「私ごと」を書かせて頂く事にしました。ご笑読頂ければ幸いです。

「私ごとですが」、他人から褒められようとせずに、他人を褒める事が出来るようになるうと、努力をしております。

ずい分前に、他人から褒められるようになると思っ、ちよつとだけ意識をしたことがあります、意識をすればするほど、どうしても取り繕いをしてしまうようになりま

になり、日常の行動が不本意なものになってしまい、かえって、そうする事で、心のどこかに違和感を覚えるようになりました。

当社のような仕事は特に、全員がチームとなって仕事をしている以上、お互いが自分の同僚の長所を意識し、認め合うことが肝心です。それが結果になり、全体の和となり、組織と個人の成長に繋がっていくものだと思います。

「私ごと」をもう一つ、先日、東彼川棚町の、とある神社に妻と二人で立ち寄った時の事です。賽銭箱のかたわらに、次のような一文が書いてありました。

(人間、一生懸命だと知恵が出る。

中途半端だと愚痴が出る。

いい加減だと言いつつ出る。)

よく読んで、自分のことをじっくり考えたら、うなずくしかありません。

そして妻から駄目だしのひとこと、「けつこう言い訳おおかよねー」と、痛いところを。これまた、

本当にうなずくしかありませんでした。

ところで、この文章、誰の言葉なのか気になり、インターネットなどで調べてみたら、作者がわからなかったものの、関係したおもしろい文章が他にあったので、ここに紹介します。

(孫の前だと仏が出る。

子供の前だと鬼が出る。

親の前だと人が出る。)

またまた、なるほどと、うなずいてしまいました。

ひと月ほど前の事ですが、ある記事に日本の離婚率が1965年以後増え続けていると載っておりまして。そこで、三つ目の「私ごと」を少しだけ・・・。

みなさんは森信三さんという方をご存知でしょうか。昔の教員師範学校、現代で例えれば、大学の教育学部の講師をされていた人で、この方が、いい言葉を遺されていますので、紹介します。

(「ハイ」の返事)と言うタイトルで、次のような内容です。

(一家の主婦にとって「ハイ」と言いたくない一番の相手は御主人です。ですからこの「ハイ」という一語によつてその女(ひと)は「我」を捨てるわけです。つまり、それまでの意地つ張りの一切を投げ捨てるわけです。同時にそれによって当の本人はもとより、一家の人々の雰囲気までが変わり出すのです。)

なるほどと思われる方もいらっしゃるかも知れません。

この事は、必ずしも夫婦に限らず、男同士、または女同士でも言える事で、「我」を出すとうまくいくものも行かなくなってしまうものです。ましてや、他人を自身の価値観で矯正しようとしても、所詮、無理な話で、会社や地域社会においても同じように思います。

また、夫婦というものは良きにつけ悪しきにつけ、お互いに業を果たすために結ばれたという考えがあります。

お互いに相手の不完全なこと、欠点を指摘したり、矯正しようとしな

いで、ただ、黙って背負っていくしかない、そればかりか、お互いの



不完全なところをいたわり合っている事が大事に思えます。

例えて言うなら、目が不自由な妻の杖になるとうという夫の覚悟であり、もうひとつ例えれば、財産や立場を失った夫の、心の支えになるとうとする妻の思いのようなものです。

また、逆のケースでは、言動に過ぎる伴侶を持てば、どちらかが、尻拭いに回らねばならない場合もあるはずです。

いずれにしても、昨年放映された、NHK連続ドラマの「ゲゲゲの女房」は良き参考ですね。

ところで、私ごとの「私」という文字ですが、漢字本来の意味は、稲（禾）を自分の方に、ギユウとたぐり寄せている姿（ム）を表した文字らしく、あまり良い意味ではないそうです。これを思い切つてみんなに分けてやる事が出来れば（公）になる。論語を引用すれば、いかに自己を抑えて自分になるか、これが、克己復礼（こつきふくれい）「大勢の中の一人であることを認識し、欲や私心を克服して本来の自分にかえる」という事です。



を「私」と呼ばず、「自分」と呼ぼうと心がけていますが、ついつい至らずに、職場においても家庭でも「私」が出てしまいます。本当に反省の毎日です。

どうか皆さんも自製の気持ちを持ち、家庭や社会の秩序が守れるように心がけて、みんなの中の一人という気持ちを持ちましょう。そして一緒になって、素直に他人を褒める、認め合う、そういう努力をしていきましよう。きつと明るい家庭や会社、そして社会が創れると思います。



安全第一
指差呼称！！



運輸部主任
山下 春光

私は安全第一で「かもしれない運転」をしています。走行中にヒヤリとしたり、ハツとしたりする事がたまにあります。横断歩道と交差点は特に注意して走行する様に徹底していますが、積荷が遅くなり時間に余裕が無い時に、車間距離が狭くなったり、信号が黄色で通過してしまつた事がありました。ある時、工場の積み込み現場で、横断歩道を指差呼称して横断している職員を見た時、これを運転に生かせないかと思ひ、交差点や横断歩道、バス停に停泊中のバスを通過する時に声を出して指差呼称し、安全の確認をして通過しています。

毎日の業務お疲れ様です。3月に入り、ずいぶんと過ごしやすい季節になりました。

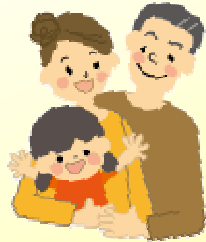


運輸部係長
萩野 浩

さて、先日9日・10日の日程で新潟出張へ行ってきました。前田運送等を訪問、今後についての話し合いを行い、引き続き玉ねぎの運搬を請け負うことになりました。またこれまでの総評として、大変良い評価を頂いてきました。前田運送に限らず、狩野ジャパン、ジェットター等お客様からも良い評価を頂くようになりこれも個々が努力した結果だと思つています。今後もこれまでの評価を維持出来る様、皆で協力していきましよう。私も営業の立場から、皆さんが気持ち良く仕事が出来る様努力していきます。最後になりますが、これから忙しい時期に入りますので、体調管理には十分留意して頑張っていましよう。

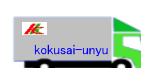


運輸部班長
横石 広野新

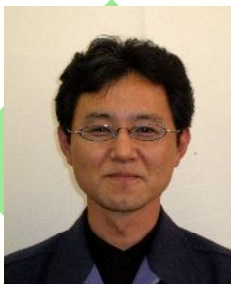


私は、長距離を離れ、時が経つのも早いもので四年が過ぎました。

この間、色々な事が変化し、この流れに自分自身を適応させる事が出来るのか不安でした。とりあえず、メインの業務を与えてもらい、確実に作業を覚えることから始まり、トレーラーの運転技術を研ぐこと、苦悩の日々が続きました。3年経って、ようやく形になって来た気がしますが、まだ完璧とはいきません。自身がやれる事・すべき事・望む事、思いも色々ありますが、明日につながる努力をして行きたいとは思っています。こんなふうに想わせてくれたのが、辛い時にも傍にいて支えてくれた妻であり、娘の誕生でした。今では娘の笑顔が活力源になっており、日々成長していく姿が嬉しくてたまりません。この家庭を守っていくために、自分がやれる事を確実に、出来る範囲精一杯やって行きたいと思います。班長という器ではないですが、皆様の力をお借りして、協力のもと頑張っていきたいと思っています。



先をみつめて



梱包部主任
尾花 貴志

皆様、毎日の作業お疲れ様です。私も入社して以来、もう20年の歳月が過ぎ、社内では古株のほうに入り、入社した当時梱包部 一番若かった私ですが、この20年余りの間に顔ぶれも大分若く様変わりし、良かったと思います。昨年は20代の若手3名の新入社員を迎えて、今なら何でも吸収して貰えると信じて、先日梱包部内で決まった社員全員の梱包スタイルの一律化を元にし、その社員の合った教え方(梱包作業及びスピード)考慮しながら皆の足並みを揃えられる様、努力していきたいと思っています。次に、私事ではありますが、昨年私の娘も小学校に入学し、気付いた事が私の時代とは違い、毎日宿題があり、それを欠かさずに行っている娘の姿でした。そんな娘の頑張っている姿に私も刺激を受け、今年から始めた事があります。それは、短い時間でもできるだけ一緒に勉強をするということです。しかしながら、毎日早く帰宅できる訳ではないので、遅くなった時は、その姿を子に見せる意味で、約1時間程リビングで行い、今は仕事に役立てられている英文や単語を覚えて、今以上にお客様とのコミュニケーションをとれる様に努力すると共に、昨年末から新しく家財用品の下見の仕方を勉強させて頂いているので、この方にも役立てられる様にしたいと思っています。これからも、日々の作業に対し同じ事の繰り返しにならない様に、私なりに試行錯誤しながら毎日を過ごしていきたいです。

皆様、毎日の作業お疲れ様です。私も入社して以来、もう20年の歳月が過ぎ、社内では古株のほうに入り、入社した当時梱包部 一番若かった私ですが、この20年余りの間に顔ぶれも大分若く様変わりし、良かったと思います。昨年は20代の若手3名の新入社員を迎えて、今なら何でも吸収して貰えると信じて、先日梱包部内で決まった社員全員の梱包スタイルの一律化を元にし、その社員の合った教え方(梱包作業及びスピード)考慮しながら皆の足並みを揃えられる様、努力していきたいと思っています。次に、私事ではありますが、昨年私の娘も小学校に入学し、気付いた事が私の時代とは違い、毎日宿題があり、それを欠かさずに行っている娘の姿でした。そんな娘の頑張っている姿に私も刺激を受け、今年から始めた事があります。それは、短い時間でもできるだけ一緒に勉強をするということです。しかしながら、毎日早く帰宅できる訳ではないので、遅くなった時は、その姿を子に見せる意味で、約1時間程リビングで行い、今は仕事に役立てられている英文や単語を覚えて、今以上にお客様とのコミュニケーションをとれる様に努力すると共に、昨年末から新しく家財用品の下見の仕方を勉強させて頂いているので、この方にも役立てられる様にしたいと思っています。これからも、日々の作業に対し同じ事の繰り返しにならない様に、私なりに試行錯誤しながら毎日を過ごしていきたいです。





梱包部主任
宮地 愛誠

禁煙大成功

私は現在禁煙を始めて8ヶ月目を迎える頃で、本当は一番自分が驚いています。禁煙を決意した理由として「健康な

体を作ること！」と言いたいのですが、一番の理由は煙草の値上がりです。吸い始めた頃は、皆さんも同じだと思いますが、憧れの俳優さんや、友達の真似をしたことが始まりだと思います。また、まだ慣れないときは咳きこんだり頭痛がしたりしていたのを思い出します。しかし、日にちが経つにつれて仕事の一段落した後の一服、飲食時の後の一服、体を動かした後の一服が忘れられなくなってきて体に染み込み、気が付くと煙草を手放せなくなって、煙草人生が約

20年近くなっていました。それで以前にも禁煙を決意した事も有りましたが次々と失敗したのを覚えています。最近になって話に聞く禁煙方法として、パイポを吸ったり、シールを貼ったり、これは一昔前と一緒ですが、最近では病院に行って病気扱いをされ、禁煙をする人がいると聞き、驚きました。

本当なら、これは社内報ですから仕事に関する事を書かなければいけないのですが、煙草と仕事では糸口が見つかりませんでした。因みに自分が禁煙をできたコツとして、皆様にお知らせです。以前テレビ「いいとも」で言っていたのですが、「煙草を吸いたい！」と思う時、7秒間我慢をしたら吸いたい気持ちが無くなると言っていて、それを試しに実行していたら禁煙ができるようになっていました。禁煙をすると思ひ込むより7秒間を我慢！の方が気が楽なのは・・・？



『 木の五衰 』

木が生長して繁茂して来ると、「懐の蒸れ」というのが始まるという。枝葉が茂るから風通しが悪くなる。酸素の新陳代謝が悪くなるとか、虫がつきやすくなるとか、いろいろな病気が始まる。つまり通風が悪くなること、これを「懐の蒸れ」というそうです。そして、あるところ迄生長した木がそれ以上伸びなくなる、これを「末（うら）止まり」というそうです。梢のことを末（うら）とかウネとか言いますが、「末止まり」が始まる。それぞれの木が頂点に達してしまった。そこで生長が止まってしまうのです。いち早く生長が止まる、これを「末止まり」というそうです。そうすると、その内だんだん根が上がって来る。根が上がってしまうと、言うまでもなく生長力は非常に衰弱してしまいます。これを「裾上り」というそうです。

竹の根には二種類の体質があるそうです。一つは地中の石にぶつかって立ち往生してしまう根。その後は地表に出てしまうか折れてしまう。もう一つは石にぶつかった時に、あたかもその石を抱くようにして中へ入っていく。こういう竹は必ず良質の竹として生長していくそうです。

人にも同じことがいえるようです。末止まりにならないよう、いろんな風通しを考えては……。

◎ 編集後記 ◎

去る3月11日、東北および関東を襲った津波と大地震。毎日のようにニュースで被災地の映像や被災された方々の生活の様子、また物資不足や原発の問題など見ていてとても心が痛みます。今、わたしたちに出来ることを一人一人が考え、一日も早い復興に向けて全国民で力を注いでいきたいものです。
がんばろうニッポン！

(編集部)